



「古屋まさお」とともに歩む 友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700
■編集責任者：古屋 雅夫
【山梨市川柳部会より】
新春の風に羽搏くコウノトリ

12
月
定
例
県
議
会
報
告
例

12月定例県議会で一般質問に立つ

- ・国保制度の改正により県が財政運営の主体としての役割を担う
- ・「議長」6ヶ月で交代、議会改革の推進が強く求められる



山梨県議会議員 古屋まさお
会派：リベラルやまなし 所属委員会：教育厚生委員会

国民健康保険の改革及び審議内容

《目的》：持続可能な医療保険制度の構築・運営のあり方の見直し

◇平成30年度から県も市町村とともに保険者となり、財政運営の責任主体としての役割を担うこととなる。

◇新制度においては、県が県全体の医療費を見込み、これをもとに各市町村に所得水準や被保険者数に応じて市町村ごとの納付金を算定し、市町村は県に「納付金」を納める仕組みとなります。

なお、「教育厚生委員会」の審査において、納付金の増額となる市町村については、国及び県の公費で調整を行う。期間は平成30年の4月から6年間を予定している。その後については国の動向や市町村の意見を聞きながら検討することを明らかにし、「付帯決議」として、①国に対する財政支援等を積極的に働きかけていくこと、②市町村との協議、連携を十分行い円滑に移行できるよう取り組むことを確認した。

さる12月4日から12月18日まで12月定例県議会が開かれた。

その概要について報告します。後藤知事は所信表明冒頭で、総選挙後の第四次安倍内閣に対し活発な論議を通じ我が国が直面している課題に全力を上げ取り組むことを期待することを表明した。提案、報告事項として①条例関係では国の「国民健康保険法」の改正がされ制度の安定を図るためH30年度から県が責任主体の役割を担うための条例案が可決した、②農林水産業関係では、i) キングサーモンとニジマスの交配に日本で初めて成功し、水産庁から養殖魚として承認を受けた・命名：「富士の介」を本県のブランド魚として東京オリンピック・パラリンピック大会（以下東京五輪、パラ大会）までに、市場流通を目指し生産体制の確立を図っていく、ii) やまなしGAPについては東京五輪、パラ大会の食材調達基準においてもGAPの認証がその要件であることから、生産者が取り組みやすい独自の制度「やまなしGAP認証制度」の認証に向けた取り組みの推進を図っていく、iii) 捕獲した二ホンジカのジビエとしての活用のため「やまなしジビエの認証制度」の創設し制度で認証されたジビエが12月中も市場に流通する予定である。③補正予算では東京五輪、パラ大会事前合宿誘致に向けた改修事業として富士北麓公園陸上競技場内の屋内練習走路（130m）等の建設や球技場芝の張替などに要す費用等14億300万円、及び河川内の支障木伐採や堆積土砂のしゅんせつ、道路舗装修繕、及び県職員等の給与等の改正など一般会計補正予算は約20億7934万円余など22案件を可決・同意した。なお、初議会となった「古屋まさお」県議は本会議において早速、一般質問を行なった。

※ GAP：農業生産の工程管理の各段階で点検項目を設定し記録、点検、評価を行い改善をしていく取り組み。

※ 記載内容は古屋まさお県議のメモであることから、適切な表現でない部分等についてはご容赦願います。



▲富士北麓公園内の屋内練習走路（130m）

県民の目線に立った「議会改革」を目指すことが重要

平成29年12月14日「山梨日日新聞」は「議長」辞職問題を大きく取り上げた。「たらい回し」も今期の議長は4人目であり、前議長は在任期間が約6ヶ月で辞表を提出。驚きと批判する声が議会内でも聞こえた。確かに議員の「出処進退」は最終的には自分で決め、自分が責任をもつことは当然である。前望月議長も苦渋の決断であったであろう。しかし県民目線から見ると「たらい回し」と書かれても仕方が無い。「県議会は何をしている」との声も市民から頂きました！

議長の役割は二元代表制に基づき、「議会機能の強化に向けて先導的役割を果たすものとする。」等（議会基本条例4条・議長の責務）の内容から考えると疑問を持たざるを得ない。「議会をもっと見える化」して、県民の意思を県政に反映できるよう開かれた議会運営等、やるべきこと山ほど、その先導的役割を担うのは議長である。白壁・新議長（自民党誠心会）は、「所信表明会」で多くの公約を述べた。今期も残すところあと約1年4ヶ月、途中で交代することなく、公約を一つ一つ実現し県民、議会の負託に応えて頂くことを期待する。



一般質問事項

古屋まさお県議は本会議において次の事項を質した。

- 1、人口増を目指した子育て世代の移住促進について（新聞掲載）
- 2、「やまなしGAP」の推進について（新聞掲載）
- 3、県産ワインのブランド化の推進について（新聞掲載）
- 4、山梨IoT推進ラボについて
- 5、本県への観光客の誘致について
- 6、JR中央線東山梨駅付近の跨線橋整備について（新聞掲載）
- 7、ドクターヘリのランデブーポイントについて（新聞掲載）
- 8、小学校における外国語教育の導入への取り組みについて（新聞掲載）
- 9、ICTを活用した教育の充実について（新聞掲載）

※ 12月議会中を含め、地元の新聞に多くの質問事項が取り上げられ話題となった。

※ 今後も県政に対するご意見等をお寄せください。

県民・市民と県政の架け橋

＝地元・地域の課題等、積極的に県政に反映する＝

- ①ドクターヘリの離着陸場（ランデブーポイント）は県内414ヶ所が指定されているが、その過半数は土のグラウンド散水対策が要する場所であり、その整備と中山間地対策の搬送体制について質した、②東山梨駅付近の跨線橋整備の課題について、知事答弁において東山梨駅周辺整備（市の事業）と合わせ、県施工での推進を目指すことを始めて明らかにさせた、③小学校に外国語科が導入（2020年度）に合わせた英語教育の結実に向けた教育環境の整備・充実を求めた、④第四次産業革命と言われる情報通信技術を活かした、あらゆるモノがセンサーや無線通信等を介してインターネットに繋がるIoTの活用。山梨市ではJA山梨とNTT東日本などとともに立ち上げたプロジェクトにより農業分野にIoTを活用していることを例に、本県における「山梨IoT推進ラボ」（H29年8月国から選定）の体制等、今後の推進に向け各分野の垣根を越えて取り組むことの重要性を提起した、⑤インスタグラム写真映えする山梨市三富「一之釜滝」を例に、県内の観光誘致の取り組みを政策提起した。

※ IoTとはInternet of Thingsの略で様々なモノやコトがインターネットで繋がること。

★★★★★ あとがき「古屋まさお一言」 ★★★★★



▼市議選、市長選、県議会・補欠選、衆議院議員選と激動の1年（H29年）が過ぎた。「ご支援頂いた多くの皆様に心から感謝致します」▼12月定例議会・本会議（初議会）において市民、県民目線に立ち、後藤県政の「ダイナミックやまなし」について質すことができた、▼新しい年を迎え山梨市の一日も早い信頼の回復に向けた市政運営に期待する。市政と県政の「懸け橋」の役割を果たしていきます、▼パンダ「シャンシャン」お披露目。暗いニュースが飛び交う中で愛いくるしい動きに人を笑顔にしてくれた。そんな「優しさを感じる」政治を追及していきます。

<http://www.e-masao.net/>